

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



中川誠一郎

(熊本/85期)

地元記念は久留米開催になってからいいですね。もう1回、熊本競輪場で走りたいって気持ちでやってるので、この大会は毎年、気持ちが引き締まってる。感じはそんなに変わらないけど、ここだけは譲れないので。今年も優勝目指して頑張ります。

松川高大

(熊本/94期)

今年は呼ばれると思ってたので、ここに向けてやってました。9車のほうが合ってるし、共同で9車を経験できるのも大きいですね。特別良くもないけど、調子はいいほうだと思う。久留米はけっこう相性があるので、記念でも結果を出したい。



坂井洋 (栃木/115期)

デビューして約1年でG1初参戦を果たしたスーパールーキー。そのオールスターでは2走目に選抜戦ながら勝ち星を挙げた。記念では7月弥彦、8月松戸と続けて準決3着で優参を逃がしたがここは優参決めるか。



上田堯弥 (熊本/113期)

恵まれた身体を活かした先行は迫力満点。9月岐阜記念では予選1、予選2を連勝している。準決は4着に沈んだものの、竹内雄、黒沢征らの先行型を沈黙させて荒井崇の勝利に貢献した。今シリーズ注目の一車だ。



森山智徳 (熊本/98期)

9月向日町記念では1②⑦②着と3連対を果たした。まくりが主武器ながら予選1、予選2はいずれも先行で粘っているのは好調の証だろう。スピードの切れの良さは相変わらずだし、航続距離も伸びてきた印象だ。

競輪ルーキーシリーズ2020プラス

10/4 (最終日) 6R

本デビューを前に3場所所で実施されたルーキーシリーズ。117期から始まったこのレースで好成績を残した選手を集めた一発勝負がルーキーシリーズプラスだ。在所上位のエリートを中心に、本デビュー後も白星を並べて旋風を巻き起こしている117期勢だが、町田太我が一枚も二枚も抜けている。在所成績は11位ながら、史上初の3回連続ゴールデンキヤップ獲得の実力は負けなしの戦績が示す通り。9月24日から小倉MNでも完全優勝すれば、S級ルーサーとして登場を果たす。1・2班戦でも本郷雄、外田心一表原周の四国勢を問題にしなかったように、長い距離を踏んでの勝負を苦にしないし、スピードはすでにS級上位クラスにも匹敵する。単騎戦で、後方からの勝負になる可能性があるが、ロングスパートを決めて脚の違いを示そう。



町田太我がライバルを圧倒

町田太我